

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
孤立しない子育て支援事業 中(なか)よし子育てプラン		中区役所 子育て支援課			
事業目的	事業内容	活動指標	R3		
子育て世帯を対象に、子育てに孤立し、負担や不安を保護者だけで抱え込むことがないよう、保護者を支援するとともに、地域で子育て世帯を見守り、支援していく環境を整える。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士、保護者と子育て支援課のつながりの場の提供 ・保護者の子育てに関する悩みの早期発見及び相談支援 ・地域の子育て資源(子育てサークル・サロンなど)に対する支援 ・子育てに関する資源等の情報発信 	事業実施数	20回		
		参加者	51人		
		参加者の満足度 (アンケート)	82%		
①妥当性	②協働の視点	③インパクト		④効率性	
◎ コロナ禍で、人が集うことが制限される中、子育ての孤立化が懸念されている。当該事業は、つながりの場を提供し、保護者同士が子育ての悩みを共有することで気持ちが軽くなり、保護者と子育て支援課とつながることで、子育てに関する悩みの早期発見及び相談支援ができる環境をつくるものであり、区が事業を実施する妥当性が高い。	◎ 交流会や講座に、子育て支援アドバイザーや公立こども園の保育士が参加し、遊びの提供や保護者と関わりを持つことで、地域の子育て支援者を認知することが出来る。また地域の子育て資源を知る機会にもなっている。	○ 中区の親子が“なか”よく楽しく交流し、ほっとできる時間が過ごせるように「なかよしほっとルーム」という中区役所子育て支援課独自の事業を開催している。	○ 電子申請システムにて予約を受け付けることで、市民にとってハードルが下がる。また新型コロナウイルスの感染状況によって事業の変更等がある場合、連絡がつかない際のメールのやり取りがスムーズになった。情報発信においては、アプリを中心に即時性の高いものを活用している。		
⑤自立発展性	総合評価				
— 中(なか)なかよしほっとプランというネーミングを用い、区民に身近で愛着を感じてもらえるネーミングとし事業実施している。孤立しない子育て支援事業については、現時点で区が事業の中核的な実施主体となるべき事業である。	○ 子育ての孤立化防止については、コロナ禍においても事業継続ができるようオンライン等、新しい方法も含め実施してきた。来所での事業実施の際は、そのまま区役所子育てひろばを案内するなど、子育てに関する資源等の情報発信を行ってきた。コロナ禍において、各回の参加人数に限りがあるが、実施回数を増やすなどの工夫により、少しでも多くの子育て世代が参加してもらえる形での事業継続が必要である。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	継続的な実施が望ましいが、事業規模や方法等再度、検討する必要がある。				